

## 給食の放射性物質測定の結果について

○給食提供年月日 平成23年12月15日（木）

### 【検査結果の表示方法】

- 検出された場合には、その測定値を表示しています。
- 「<〇.〇」と表記しているのは、検出下限値（検出できる最小の値）未満であることを表しています。（例えば、「<1.2」とは、放射性物質の値が、0から1.2未満の範囲内です。）
- 検出下限値は、検査対象の給食の内容（水分の比率等）や自然界に存在する他の放射性物質（主にはカリウム40）の含有量等によって変動するため、検体ごとに数値が変わります。

### 【検査結果】

#### 【調理済み給食】

施設名	献立	測定結果 単位：Bq/kg		
		放射性 ヨウ素-131	放射性 セシウム-134	放射性 セシウム-137
久堅保育園	はちみつパン、野菜スープ、 トマトソースのプチパスタ、 ミートローフ、鶏のから揚げ、 茹で人参、ミニトマト、 スティックきゅうり、フライド ポテト、茹でブロッコリー、 いちご、みかん、チョコマドレ ーヌ、キウイフルーツ、牛乳	<1.0	1.1	1.4
水道保育園	はちみつパン、トマトソースの プチパスタ、野菜スープ、 ミートローフ、鶏のから揚げ、 茹でブロッコリー、ミニトマト、 いちご、パイン缶、チャウダー、 おかし、牛乳	<1.0	<1.1	1.0
柳町保育園	わかめラーメン、ロースト チキン、人参甘煮、スティック きゅうり、きな粉もち、磯辺餅、 揚げパン、牛乳	<1.1	<1.3	1.6
まなびの森 保育園	牛乳、バナナ、ビスケット、 玄米入りごはん、鯖の味噌煮、 ほうれん草とちくわのごま和 え、焼き麩とえのきのすまし汁、 卵ボーロ	<0.9	<1.2	<1.1

小学館アカデミー 小石川保育園	牛乳、チャウダー、クラッカー、 ピラフ、ポテトスープ、ロース トチキン、人参甘煮、茹でブロ ッコリー	<0.9	<1.1	<1.2
礪川小学校	スパゲッティ地中海風、 かぼちゃサラダ、牛乳	<0.8	<0.6	<0.8
柳町小学校	ゆかりごはん、みそ汁、 焼きししゃも、かわりきんぴら、 牛乳	<0.9	<1.0	<1.1
金富小学校	ご飯、ひじきふりかけ、じゃが いものそぼろ煮、おひたし、 牛乳	<1.0	<1.0	<1.1
窪町小学校	ご飯、さばのみそ煮、竹輪入り おひたし、のっぺい汁、牛乳	<1.1	<1.1	<1.2
大塚小学校	高野豆腐で麻婆ライス、りんご サラダ、甘辛団子、牛乳	<1.0	<1.1	<0.9
第一中学校	鮭寿司、炒り鶏、すまし汁、 牛乳	<0.9	<0.8	<1.2
第三中学校	麻婆丼、玉子とわかめのスープ、 中華サラダ、牛乳	<1.0	<0.9	<1.0

### 【牛乳】

施設名	測定結果 単位：Bq/kg		
	放射性 ヨウ素-131	放射性 セシウム-134	放射性 セシウム-137
久堅保育園	<1.1	1.3	3.2
まなびの森保育園	<0.9	<1.1	<1.2
小学館アカデミー小石川保育園	<1.0	<1.1	<0.9
礪川小学校	<0.7	<0.8	1.0

【今回の調理済み給食の測定値を基に年間累積放射線量を計算してみると】

検出された施設の給食（セシウム 134 が 1.1Bq/kg、セシウム 137 が 1.4Bq/kg）の例で、一食当たりの実効線量は、 $0.0175 \mu\text{Sv}$  となります。

この給食を 1 日 3 食、一年間摂取したと仮定した場合の食品による年間累積放射線量は、

$0.0175 \mu\text{Sv} \times 3 \text{食} \times 365 \text{日} = 19.1625 \mu\text{Sv} \approx 0.0192\text{mSv}$ （注） となります。

この値は、厚生労働省が食品の規制値の見直し基準として示している年間 1 mSv と比較して、極めて低い数値です。

（注）  $1\text{mSv} = 1000 \mu\text{Sv}$

（参考） 給食 1 食分の内部被ばくの実効線量は、国際放射線防護委員会が示す実効線量係数から算出しています。

ベクレル（Bq）は、放射能の強さを計る単位で、シーベルト（Sv）は、人間が放射線を受けた場合の影響を示す単位です。

現在の食品に関する暫定規制値は、放射性セシウムで年間 5 ミリシーベルトを基準に設定されています。この暫定規制値については厚生労働省から、年間 1 ミリシーベルトを基本に設定を見直す方向性が示されています。